

PEACE!

No.60 March 2018

● 地域住民のみなさんと、
● その家族に寄り添った
● フライマリ・ケアを学べる
● 臨床研修病院です。

● 感想・お問い合わせはこちらまで↓↓
● igakusei@watari-hp.jp

医療生協わたり病院の医学生通信です☆

年度の節目、環境の変化やお世話になった人との別れ、医学生の皆さんはどのようにお過ごしですか？

さて春といえば福島市渡利の国号114号沿いにある当院から少し東に行ったところにある「花見山公園」をオススメいたします。「福島に桃源郷あり」としばしば形容されるその景観は中々ですよ～(´u`)ぜひいらしてみてください☆



一年間の振り返り

※2018年4月発行予定、法人機関紙の寄稿文から転用

2年目の初期研修をふり返って
2年次初期研修医 高橋 剛 先生

僕にとってこの一年間は、初期研修のまとめの期間であり、また精神科や産婦人科、三次救急といった今まで臨床経験のなかった分野の学びの時期でもありました。特に精神科研修は、認知症へのアプローチや精神疾患患者に対するソーシャルワーカーの関わりを学びたいという目標を立てて臨みましたが、それだけにとどまらず、不眠やせん妄への実践的なアプローチや重症うつ病・統合失調患者の電気痙攣療法を実際に経験したりと充実した2か月間であったように思います。また初期研修の最後の一ヶ月は、さくらみずクリニックでの地域医療研修でしたが、外来や往診、地域の保健予防活動への参加を通して二年間のまとめとふり返りが出来たと思います。4月からは総合診療科後期研修医として引き続きわたり病院でお世話になります。

青森修行帰りです
後期研修医 国井 綾 先生

わたり病院の国井です。簡単に一年を振り返りたいと思います。昨年度は最初の3ヵ月内科、その後小児科を経て10月より青森の津軽保健生協での修行です。青森では新築移転したばかりの健生病院のER（救急外来）、藤代健生病院（精神科）でそれぞれ3ヵ月間勤務しました。青森の方はいい人ばかりで、津軽弁は半分以上聞き取れませんでした。生活で苦労することはほとんどありませんでした。

趣味であるマラソンも続けています。この点では（冬の）青森はもうたくさんです（笑）。慣れない雪道で足を痛めました。強行出場したいわきサンシャインマラソンは散々な結果でした。

2018年度は福島に戻り、まずは半年間さくらみずクリニックに勤務します。今後ともよろしくお願ひします。



わたぐらむ No4 熊本から



はるばる熊本県から病院見学

- #熊本大学5年 #緩和ケア学習
- #往診に行くうしろ姿をパシャリ
- #震災後が気になって #福島名物を食す
- #明日は会津に行きます！
- #遠路遅々ありがとう



フォローする



医学生実習！

春休みに入り、わたぐらむで紹介した他にも、学生さん達が全国各地から実習に来てくれています♡興味のある診療科を中心にまわったり、低学年は各部署を満遍なく体験したりと一人ひとりの希望に合わせてスケジュールを組み立てています(^)/

小児科研修中の初期研修医のミニレクチャーが病棟であったので看護師さんにまざって急速参加！



《感想一部抜粋》
今回は、小児科を中心に見学させていただき、小児科医と他の職種の方々との連携について多く学ぶことができた。(獨協医大2年)

一番印象に残ったのは「サービス付き高齢者向け住宅ひだまり」だった。自分のしたいような暮らしができるというのが、どれだけ幸せなことなのか、それを実現できる場所があるのはいいなと思った。(岡山大1年)



小児科の指導医同行中！
小児科の症例を基に異なるCT画像を見て異変を探したり、インフルエンザ菌に感染していると考えられる患者さんに用いる薬剤判定をしたい…真剣に解説を聞いていました！

被災地フィールドワーク

わたり病院も加盟している福島県民主医療機関連合会主催で今年も被災地フィールドワークを行います。震災から7年が経った現在、被災当時との違い、今起きている課題など改めて自分たちの目で確認し、考える機会としては是非ご参加ください。過去に参加された方のご参加も大歓迎です。

日にち：4月29日(日)

時間：10:30~

内容：

- ①浪江町・富岡町・楡葉町視察
- ②学習講演
- ③懇親会

※内容は変更になる場合があります。詳しくは担当までお問い合わせください。

参加費：学生無料

定員：20名

申込み：福島県民医連事務局

024-521-5205

担当：安齋・山内

福島県原発事故被災地視察のご案内



震災発生から7年経ち、被災地の現状を視察し、被災者の生活状況や復興の進捗を確認し、今後の医療支援のあり方を考える機会です。被災地の現状を視察し、今後の医療支援のあり方を考える機会です。

日時：2018年4月29日(日) 曜日の日
時間：10:30~15:00
主催：福島県民主医療機関連合会
共催：わたり病院、福島の未来を創る会、福島県医師会、福島県看護協会、福島県薬剤師会、福島県理学療法士会、福島県作業療法士会、福島県言語聴覚士会、福島県歯科医師会、福島県歯科技工士会、福島県歯科衛生士会、福島県歯科矯正科医師会、福島県歯科矯正科歯科技工士会、福島県歯科矯正科歯科技工士会、福島県歯科矯正科歯科技工士会

参加費：学生無料
定員：20名(申込人数により変更あり)
申込み：福島県民医連事務局
電話：024-521-5205
e-mail: info@fku-mh.org

緩和ケア講演会



2月22日(木)にわたり病院緩和ケア病棟講演会を福島テルサにて開催しました。特定非営利活動法人がんピアネット

トぶくしま 理事長 鈴木牧子さんを講師としてお呼びし、「患者・家族と共に歩む～私のがんサバイバーシップ～」をテーマにご講演いただきました。今回は、医学生も2名の参加があり、講演内容について意見交流を行いました。

なお、緩和ケアに興味がある方は、病院見学の際にも、緩和ケア病棟の見学が可能です。まずは見学申し込みの際に担当者までご相談ください！

医学生担当：igakusei@watar-hp.jp

「研修医・院内スタッフへの質問、日常で起こった衝撃エピソード募集中」いただいた質問・エピソードは次回以降の医学生通信に掲載させていただきます。応募は下記メールアドレスまでお送りください♪大学名、氏名、ペンネームもお忘れなく(^)/

医療生協 わたり病院

医学生通信

PEACE!

960-8141

福島県福島市渡利字中江町34
医療生協わたり病院 医学生担当
Tel:024-521-2056(代)

感想・お問い合わせはこちらまで↓
igakusei@watar-hp.jp

研修医・医学生のページ↓↓
<http://www.watar-resident.com/>



No.60 2018 March

医療生協わたり病院



検索